

対談

川原 茂雄
（「市民の風」共同代表）
×
はたやま和也
（日本共産党前衆議）

「市民+野党共闘」で 新しい政治へ



川原茂雄さん（右）とがっちり握手する、はたやま和也・前衆議院議員



はたやま和也さんに期待 ～川原さん熱く語る～

はたやまさんはいつも「市民と野党共闘」の先頭に立って頑張っています。私はこういう誠実な政治家に期待します。はたやまさんの国会議員としての活躍を見てきた者として、ぜひ国会の場に戻って力を発揮してほしいと思います。

そのためにも「市民の風」として共闘を進めます。

共闘の力、北海道で証明を ～はたやま和也～

「自民党政治はもうこりごり」という人が多くいます。新しい政権を野党でつくるため、共通の公約を話し合い、市民と懇談を積み重ねます。

市民と野党の共闘の流れは、政治を変える大きな力です。来年の選挙で、その力を北海道でも証明したいです。

「新しい時代が始まっている」

「戦争させない市民の風・北海道」共同代表の川原茂雄さん（札幌学院大学教授）とはたやま和也が、対談で意気投合しました。

憲法違反の安保法制反対、立憲主義の回復が出発点となった北海道の共闘。5区補欠選挙と総選挙などで、共闘の“絆”を発展させてきました。「新しい時代が始まっている」と語る川原さんは「共産党は市民とともにたたかうことに早くから取り組んできた」と評価し、「選挙をたたかう中で共産党の考え方や政策、たたかう姿が間違いなく市民に広く浸透して、支援する声が出ています」と激励。はたやまさんと共に、「今度は安倍政権打倒！新しい政治をつくろう」と固く誓い合いました。

はたやま和也 プロフィール

- 1971年宮城県石巻市生まれ。46歳。 ●宮城教育大学、北海道教育大学大学院釧路校に進学。
- 苫小牧市立明倫中学校などに赴任。 ●2014年衆議院選挙・比例北海道ブロックから初当選。
- 2017年10月まで農林水産委員、経済産業委員。
- 現在、党中央委員、同政策委員会副責任者。参院選北海道選挙区予定候補者。
- 趣味は将棋、野球。家族は妻と2子。

制度解説
参議院選挙
投票方法

はたやま

●選挙区は「候補者の名前」
を書きます。

共産党

●比例代表は「日本共産党」
と政党名を書きます。個人名でも投票できます。



はたやま和也
前衆議院議員
（選挙区予定候補）



紙 智子
参議院議員
（比例代表予定候補）

日本共産党

前衆議院議員

憲法の
チカラで

はたやま 和也



はたろぐ

検索

JCP サポーター制度
HPからあなたでも登録できます



JCP
Japanese
Communist
Party
Supporter

ほがけ新報

発行所 / 〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目3-2

2018年号外
発行所 / ほっかい新報社
（1965年8月10日第三種郵便認可）

ご意見をお寄せ下さいー日本共産党北海道委員会
TEL 011-750-1500

■日本共産党北海道委員会は、はたやま和也氏の政策を発表しましたので紹介します。

さあ、 変えるよ！

北海道
から

新しい日本へ

さあ、変えるよ！

3つの柱 **福祉** **子育て** **農業** で立て直そう！

森友・加計疑惑でのウソ・隠ぺいに、セクハラや改ざんを認める暴言、データねつ造、強行採決…安倍政権がワガモノ顔に国政を「私物化」している間に、格差は拡大、道民生活は追い詰められています。今こそ、暮らしに寄り添う政治を！

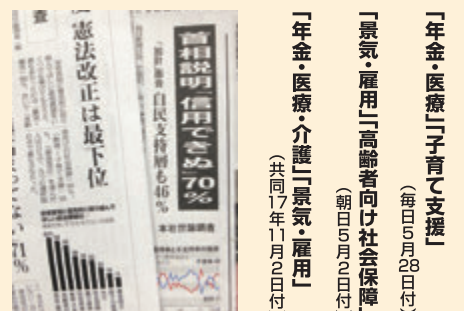
やっぱり

道民の願いは……福祉！

道内では、子どもの貧困、地域の医師・看護師不足が深刻化、介護の負担が増え、年金も削減。「もう限界」の声が上がっています。

「安心できる毎日を」——これこそが道民の願いです。先進国で最低レベルの社会保障予算を拡充します。

国民が「重視する政策」1・2位は…



もっと

若者・子育て・雇用に力を

月100時間までの残業を認め、過労死を広げる安倍政権。大企業ばかりを優遇し、実質賃金は低いまです。中小企業を支援して最低賃金1500円に引き上げ、認可保育所を増設し、給付型奨学金を拡大します。

土台

農林水産、中小企業、鉄道・交通が

安倍政権の下、TPP11などで農林漁業が壊され、鉄道も廃止の危機。地域社会と経済の土台が崩れています。

基幹産業の農林漁業、中小企業、そして地域の交通と物流を支える鉄道・交通こそ、道民の暮らしを支える「土台」。国の責任で守り、地域を支えます。



上：JR日高線の被災現場視察
下：沿線自治体の首長と懇談

「ウソ偽りの安倍政治」にサヨナラ！

ずばっと

論戦力は折り紙つき



予算委員会で首相と「直接対決」

衆議院議員として国会で77回もの発言、うち10回は安倍首相を直接たどしました。

日口問題では、領土問題を「棚上げ」する首相に、正面から道理ある交渉をするよう要求。イラク日報問題や、TPPなど農業問題も追及。ある大臣秘書は「はたやさんにやられた」と語りました。

バツグンの

行動力は保証つき

台風や高潮の被災現場や、11人が亡くなった「そしあるハイム」の火災現場に駆けつけて、道や、札幌市への要請も行いました。

また、反原発や最低賃金引き上げの行動にも頻繁に参加、参加者から「忙しくても来てくれる」との声が上がっています。



台風被害を視察（北見市）



反原発デモに参加（札幌市）

いつも「反戦平和」と「子どもたちの未来のため」

定食屋で生まれ育ったはたやまさん。子どもの頃から店を手伝い、庶民目線で政治を語る、身近な存在です。

教育大学の学生時に、湾岸戦争が勃発。「子どもたちの未来のために」との思いで、戦前から「反戦平和ひとすじ」の日本共産党に入党しました。

「子どもたちが平和な社会で生きられるように」と政治の道に。2014年～17年に衆議院議員として活躍しました。



生後6カ月、父に抱かれて

「憲法9条生かす」「消費税10%ストップ」「原発ゼロ」へ

共闘の前進と日本共産党を伸ばし、野党連合政権を！